～令和２年度「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」研修会プログラム～

日　時　：　令和２年８月３０日（日）　１４：００～１６：００（受付　１３：３０～）
場　所　：　コラボしが２１　３階　大会議室

＜　プログラム　＞

14：00～　開会挨拶
医療福祉・在宅看取りの地域創造会議　　越智　眞一　代表幹事
滋賀県　　三日月大造　知事

14：15～　研修会《テーマ》　QOD（死の質）を実現する意思決定支援とは
講　師：（１）臨床宗教師（関西臨床宗教師会会長）：野々目　月泉さん
（２）在宅医師（米原市地域包括医療福祉センターふくしあ）：中村　泰之さん
（３）権利擁護・成年後見（NPO あさがお）：中原　一隆さん

在宅療養時の意思決定支援には、それぞれの立場が役割を持って取り組んでいる。
今回、患者の QOD を実現する意思決定支援について、スピリチュアルなケア、医療提供の立場、そして成年後見等の権利擁護の立場からそれぞれ専門職の取組を話題提供していただき、自らの、そして職場や家庭で関わる人たちのQOD の実現を考えるきかっけとする。

15：15～　休　憩
15：25～　講師どうしの意見交換（講師間でＡＣＰの考え方を踏まえて意見交換）
コーディネーター　医療福祉推進課長　新垣　真理

～16：00　終了

＜講師紹介＞
〇臨床宗教師　　野々目　月泉さん
滋賀県彦根市生まれ
産業カウンセラー資格取得、真宗大谷派大國山妙宗寺坊守、ピアサポーター、
日本臨床宗教師会認定臨床宗教師（関西臨床宗教師会会長／日本臨床宗教師会理事）
著書 一樹の蔭、2016 年８月ＮＨＫＴＶ クローズアップ現代＋にて取材放映される

〇在宅医師　　中村　泰之さん
滋賀県出身。自治医科大学医学部卒業後、大津赤十字病院、石部医療センターで勤務。その後、西浅井町国民健康保険診療所所長、公益社団法人地域医療振興協会地域包括ケアセンターいぶき副センター長などを務める。平成 27 年 10 月より、公益社団法人地域医療振興協会米原市地域包括医療福祉センター「ふくしあ」センター長。現在はセンター長を務めながら地域の訪問診療にも携わっている。

〇権利擁護・成年後見　中原　一隆さん
東京都出身。日本社会事業学校研究科卒業後、高齢者施設等で勤務。その後地域包括支援センター職員、大津市認知症コーディネーターなど勤める。
2014 年から認定特定非営利活動法人あさがおに勤務。2019 年から同所長に就任。
社会福祉士、認知症ケア専門士として、権利擁護・成年後見支援事業所勤務に携わる。

～＊～

※【QOD】「Quality　Of　Death」の頭文字をとったもので、いかに満足して死を迎えるか、という死の質を表す概念。
※【ACP】「Advance Care Planning（患者の意向を尊重した意思決定支援）」の頭文字をとったもので、自らが大切にしていることや希望する人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、家族等の信頼できる人や医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い共有する取組のこと。